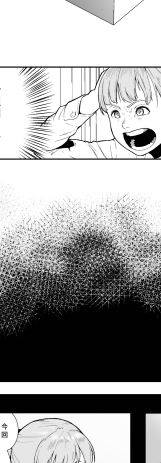


どうしよう…



一週間じや無理だよ…



今週 私が考えたUIは

まず 全体の配置が悪いので、ユーザの操作ミスで大きな事故が起きかねません

後、この文章ではユーザが間違えて選択してしましますね

さらにこんなには多くの色を使っではわかりませんよね？

品質と安全のデモンストレーションで…

こんなにもユーザビリティに配慮されていないUIをお客様に提供するのですか？

一週間もあれば出来るでしょう

はい…

入社して3年先輩の先輩の仕事をしてきて

やっと一人で仕事を任せてもらったけど

ユーザビリティに配慮したUIを作るのが難しかったなんて…

本を読んでもセミナーを受けてもBtoC向けの一般的な事しかわからない

StoB事例もなかなか見つからないし…

一週間じや無理だよ

お疲れ様

リーダー!!

ユーザビリティに配慮したUIが作れなくて悩んでるんですね？

そうですね…

よし！まずはユーザビリティにおける使いやすさとは

一言でいうと使いやすさといっても

実は、普遍的なものがあるんです

使いやすさは人間の普遍的な特性に基づいたもの

普遍的

個人の状況で変わる

個人の状況によって変わるものがあります

人間性に基づいた使いやすさに基づいたガイドラインをデザイン原則と言います

また原則の中でも画面や物理スイッチに適用されるUIデザイン原則などもありますが

いずれも人間の特性を元にすることは変わりません

例えばデザイン原則の可視性

可視性

デザイン原則 可視性

設計基準 設定や動作の ON/OFF などの状態がわかる

例：通信がつながっているのかどうか、何の方式(Wi-Fi なのか Bluetooth なのか等) でつながっているのかわかる

具体的に表現するようになります

なるほど！デザイン原則を守ると使いやすさの要素が守られますね

でも、この項目

概念的でわかりにくい

そうですね

そのままだでは何をどうするかまでわからない！

そこでそのあいまいな内容をUIデザインの観点で

具体的に、何をどうすればいいか記した設計基準も用意しています！

例えばデザイン原則の可視性を設計基準で

可視性

設計基準

設定や動作の ON/OFF などの状態がわかる

例：通信がつながっているのかどうか、何の方式(Wi-Fi なのか Bluetooth なのか等) でつながっているのかわかる

具体的に表現するようになります

確かにわかりやすいですね

さつそく見てみます！

ちなみに、どれくらいあるんですか？

そんなにありません！

120くらいですね

そんな意見も想定して

実は、設計基準を作ったサイトも利用しています

それは、デンソーUIスタンダードと言います

設計基準の項目を

開発状況、UIの要素、デザイン原則等の項目で、ゾートできるシステムで、

良い例

悪い例

より内容理解しやすいものになっています

それ、社内外の事例も掲載しております

多くの人が使ってもらい、開発事例を収集して

デンソーならではの基準を作っているんですよ

ありがとうございます

ぜひ使ってみてください

一週間後

こちらが修正案です

いいでしょう

これで提出してください

- Fin -